

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年7月13日

事業所名 引野ひまわり学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を心がけ、部屋を広く使えるようにしている。 ・クラスの人数や生活年齢等を考慮して部屋を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を満たしている。 ・廊下、クラスの整理整頓を徹底し、活動に影響が出ないようにしていく。
	②	職員の配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> ・4対1以上の配置にしている。 ・各クラス職員を3～4名配置し、フリーで動ける職員を2名配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を満たしている。 ・子どもたちの状況に合わせて、必要な職員の配置を今後も検討していく。(加配保育士の配置)
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・衝立、椅子テーブルなどを使用して子どもたちひとりひとりに合った構造化を心がけている。 ・スケジュールや絵カードでのコミュニケーションを取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が古いため、構造上の問題は難しいが、ひとりひとりに合わせた環境調整は今後も行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日時間を設定し掃除を行い、清潔に保つよう心掛けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが心地よく過ごせるよう、できるところは工夫していく。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や指導会議、で議題に挙げ、職員全体に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容に応じて職員会議、指導会議、リーダー会議などで関係職員の参画を促し、業務改善に取り組んでいる。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインに基づく、評価を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の結果を次年度に活かし、サービスの向上に繋げていく。

業務改善

<p>⑦</p>	<p>事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している</p>	<p>○</p>		<p>・アンケート結果及び改善内容については、ホームページ及び学園内掲示板にて公開している。</p>	<p>・令和元年度の結果についてはホームページ上で公開予定である。 ・公開については、保護者に書面にてお知らせし、周知を図る。</p>
<p>⑧</p>	<p>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている</p>	<p>○</p>		<p>・市の指定管理施設としてモニタリングを実施している。</p>	<p>・第三者委員による外部評価は実施しておらず、今後の検討課題である。</p>
<p>⑨</p>	<p>職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している</p>	<p>○</p>		<p>・新人研修や専門研修等各個人の経験年数やスキルに合わせた研修を実施している。 ・業務に必要な資格取得の研修についても機会を確保している。</p>	<p>・専門分野の外部講師を依頼し、業務に必要な専門的なスキルの強化を図る。</p>
<p>⑩</p>	<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している</p>	<p>○</p>		<p>・標準化された発達検査や行動観察により子どもの状態及び課題を確認するとともに、面接や家庭訪問等で保護者のニーズを把握し支援計画に活かすようにしている。</p>	<p>・今後も保護者からの情報やニーズを把握し、支援計画に反映させて行く。</p>
<p>⑪</p>	<p>子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している</p>	<p>○</p>		<p>・ポータージ・プログラムや遠城寺式乳幼児分析的発達検査などを使って支援計画を立てている。</p>	<p>・今後も客観的なアセスメントを行い、よりよい支援計画を立てて行く。</p>

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・個別の児童発達支援計画に網羅している。	・児童発達支援ガイドラインに沿った、個々の支援計画を立てる。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・定期的に見直しを行っている。	・今後も継続していく。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・チーム(クラス・グループ)で話し合い立案している。	・今後も継続していく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・子どもたちの状況に合わせて、プログラムを立案書面化し、活動が固定化しないようにしている。	・今後も継続していく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個々の児童発達支援計画の内容に沿って、指導形態を考慮しながら実施している。	・今後も継続していく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・登園前の時間を利用して行っている。	・今後も継続していく。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・降園後の時間を利用して、園児の情報交換や支援方法の検討など行っている。	・今後も継続していく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録をとっており、支援に役立っている。	・今後も継続していく。

⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリングを年2回行っておりその際、支援計画の見直しを行っている。	・ガイドラインに沿って、年度当初に個別の児童発達支援計画の説明を行い、その後年2回のモニタリングを実施している。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・必要に応じて相談支援事業所職員とクラス担任、児童発達支援管理責任者、園長が情報交換を行っている。	・今後も必要に応じて参画していく。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて、関係機関(区役所・子ども総合センター)と積極的に連携を取っている。	・個別のケースに応じて、関係機関と定期的に情報交換などを行っている。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当児がいない。	/
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当児がいない。	/
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・幼稚園への移行支援として並行通園を実施している ・幼稚園や保育所に移行するときは引き継ぎ書を基に説明を行っている。	・今後も継続していく。

関

保 護 者 と の 連 携	②6 移行支援として、小学校や特別支援学校 (小 学部)との間で、支援内容等の情報共 有と相 互理解を図っている	○		・引き継ぎ書を作成 し、就学先へ説明を 行っている。 ・就学先からの見学 を受け入れている。	・今後も継続していく。
	②7 他の児童発達支援センターや児童発達支 援事業所、発達障害者支援センター等の 専門機関 と連携し、助言や研修を受けて いる	○		・総合療育センター のPT(理学療法士) やOT(作業療法 士)、心理士、ST (言語聴覚士)に必 要に応じてに來園し てもらっている。	・今後も継続し、コメディカルス タッフからの助言や研修等を受け て行く。
	②8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会があ る	○		・全園児対象の交 流保育(保育所)を 定期的実施して いる。	・今後も定期的に交流保育を実 施して行く。
	②9 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加してい る		○	・地域に子ども・子 育て会議や自立支 援協議会の子ども 部会がないため参 加できていない。	・引野校区まちづくり協議会に委 員として会議に参加している 今後も地域の会議などに積極的 に参加していく。
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子 どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○		・日常の連絡ノート や電話連絡のほ か、懇談1回、モニ タリング2回を実施 している。 ・個人懇談について は、保護者の要望 があれば随時実施 している。 ・クラス懇談やグ ループ懇談も実施 している。	・今後も継続していく。
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保 護 者 対 して 家 族 支 援 プ ロ グ ラ ム (ペ ア レ ン ト ・ ト レ ニ ン グ 等) の 支 援 を 行 っ て い る	○		・保護者向け勉強 会を実施している。 ・個々の児童発達 支援計画からホー ムプログラムを提供 している。	・今後も継続して行く。
	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な 説 明 を 行 っ て い る	○		・入園時に説明を実 施している。	・丁寧な説明を心がける。質問は 随時受け付けて行く。

保護者への説明責任	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会において、「児童発達支援ガイドライン」に基づいた計画案の立案や支援内容について説明を実施している ・個別の児童発達支援計画については、個別で説明を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の児童発達支援計画は個人懇談において保護者に分かりやすいように丁寧に説明していく。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な懇談1回、モニタリング2回の他に保護者の要望があれば随時懇談や家庭訪問を実施している。 ・日常の連絡ノートや電話連絡でも相談に応じ、必要な助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続していく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の役員と随時情報交換を行っている。 ・保護者勉強会や学校・施設見学会、卒園児保護者との座談会などを通して保護者間の連携をサポートさせてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も父母の会の活動を支援して行く
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日連絡帳等で情報交換をしている。相談があった場合には、即対応している。 ・相談の内容や緊急度によっては、児童発達支援管理責任者や園長が同席するなどして対応に当たる体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応の体制については、今後も入園時や進級時に保護者に対して説明を行っていく。

<p>③⑦</p>	<p>定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p>	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに年間行事予定を配布 ・毎月のおしらせ、献立表、グループの活動内容の配布。 ・行事の様子や季節の制作内容についてはHPで知らせるとともに園内やクラスに掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは毎月更新する。 ・更新した際は連絡帳などで、保護者へお知らせする。 ・活動内容については、園内の掲示を継続して行く。
<p>③⑧</p>	<p>個人情報の取扱いに十分注意している</p>	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・終業時にはファイルチェックを実施している。 ・個人情報に関する書類は施錠のかかる書庫で保管している。 ・保護者に対して、個人情報の取り扱いに関しては、入園時のオリエンテーションで説明を行い、周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修として、「個人情報の取り扱い」に関する研修を実施していく。
<p>③⑨</p>	<p>障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている</p>	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・言語的、視覚的、身体的伝達方法をひとりひとりに応じて行うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も障害のある方に関しては、情報伝達等の配慮を行っていく。
<p>④⑩</p>	<p>事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p>	<p>○</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に協力を依頼し伝承遊びを行っている。 ・地域の市民センター主催の文化祭で、父母の会がバザーを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域との連携を行う。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを作成し職員に周知している。 ・毎月避難訓練を実施している。 ・保護者へは、総合避難訓練への参加を促し、八幡西消防署の指導の下、避難方法や消火器の取り扱いについての指導を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル委員による各種マニュアルの見直しを定期的に行っていく。 ・様々な訓練の様子などはホームページや学園内掲示板で公開し、保護者への周知を図る。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の下、地震・竜巻・水害・不審者訓練をしている。 ・訓練内容によっては、近隣の警察署や消防署の指導の下、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行く。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・通園開始前の面接の時に情報を入手するようにしている。 ・緊急体制が必要な子どもの対応を书面化し、保護者とかかりつけ医に確認を得ている。 ・薬の種類や量については定期的に確認するとともに変更があった際は学園へ伝えることを保護者へ伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行く。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・通園開始前及び進級時に入手し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行く。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった場合、朝礼で情報、対応策を共有し、書面で残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行く。

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のための職員向けチェックリストを毎月実施している。 ・子ども総合センターから講師を招聘し、園内勉強会を実施した。 ・園外の人権研修(虐待防止)にも参加し、職員全体で周知している。 	・今後も継続して行く。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず身体拘束(通園バス内で胸ベルト、セーフティベルト、パーテーションなど)を行う場合は、児童発達支援計画に記載し、予め保護者の同意を得るようにしている。日々の記録も行っている。 	・今後も保護者に丁寧な説明を行い、モニタリングの際に経過について知らせていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。